

学習の取り組みと異なり、生活の取り組みでは、メディアルールを除き、1学期末より4評価が増えています。児童生徒自身が自己の伸びを評価した結果、表れた数字です。あいさつや清掃については、児童生徒会執行部や学習部が全校を巻き込んだ取り組みを企画したこと、忘れ物については、重点取り組み期間を設けたことが大きな伸びにつながったと思います。しかし、全体的な数字からは、まだ5割6割台なので、ご家庭の協力もいただきながら地道に取り組んで参ります。あいさつは、本校の伝統にもなりつつあります。地域・保護者の方々からも登下校時を中心に子どもたちとあいさつを交わしていただけますよう引き続きお願いいたします。

しいたけ コマ打ち体験



ねて親子で体験活動をし、
県東部振興局より担当者の方、地域
でシイタケ栽培を
営んでいる糸永さん
の成長やコマの打ち
方を教えていただきま
した。



一月一四日に三
年生が親子でし
いたけのコマ打ち
体験をしました。
三年生では、例
年、しいたけの原
木に種駒を打ち込
む体験をしていま
す。
この日は、親子
ふれあい活動も兼
ねて親子で体験活
動をしました。

打つ作業をし、ま
た親子で原木一本
を担ぎました。コ
マを打ち終わると
二年間寝かせるた
めにほだ場に運び
ました。
五年生での収穫
が楽しみです。

平和集会 体験講話を聴く

二月七日、朝の時間に平和集会
を行いました。三・四年生は対面
で、そのほかの学年はリモートで
聴きました。
町内に在住の糸永さんをお招
きして戦争体験談を語っていただ
きました。
糸永さんは、ご自身が小学生の
時に第二次世界大戦を経験され、
北九州に学徒動員で爆弾を作り
に行つたことや体験した戦争の悲
惨さや怖さについてお話ししてく
れました。また、戦争に至つた経緯
や平和に対する思いなどを熱く
語つていただきました。
子どもたちも真剣なまなざし
で糸永さんのお話に聞き入ってい
ました。



忘れ物ゼロウィーク



忘れ物、誰もが
経験するもの、誰
かだと思いがちな
ものです。しかし、学
校生活で支障を来し
てしまうことがあ
ります。そこで、学
習部が立ち上げ、一
月八日から忘れ物
ゼロウィークとし、
結果は、なかなか
難しかったようです。

できそうな
工夫はない
ものか？

- ☐ 連絡帳
- ☐ ハンカチ
- ☐ 赤青えんぴつ
- ☐

◎点検表を作成して準備の時に確
認するのは有効だと思ひます。
特に毎日必要な物は、右のよう
に書き出しておき、点検すること
で忘れ物を防げます。
◎付箋紙やメモ用紙、ホワイトボ
ードなどメモを利用する。
習字道具など、毎日ではなくて
も「明日は必要」である物や「締め
切り」のある物は、メモに残してお
くことが有効だと思ひます。
これらは、あくまでも私の私見
ですが、私も実践しています。
ぜひご家庭でもできる工夫を話
し合つてみてください。

みそづくり体験



八日、一年生が
味噌づくり体験
をしました。大豆を
煮て、味噌汁を
作りました。チヤ
イとおいしくな
りました。



大豆が入つ
た袋を用意してくださいま
した。子どもたちは、各自手
で揉み続けました。麹菌と
小さくしていきました。粒を
混ぜてさらに揉み続けまし
た。
大豆は、三年生
の学習で「姿を
変える大豆」と
いう説明を聞き
ました。味噌は
すくみ、味噌汁
を通して、国語
の学習が、どの
ように、身近な
味、また、身体
験となり、また、
子どもたちにと
つて、豊かな体
験活動が生きて
いる、豊かな心
や学びへの挑
戦意欲を湧か
してくれと思い
ます。